

ぽっかぽか らいおん組



街はイルミネーションやツリーなどクリスマスの時期で賑わっていますが、らいおん組は「子ども会」に向けて、イキイキ・わくわく賑わっています。今月は、「子ども会」についてお便りを書かせていただきました。活動にどんなねらいがあり、子どもたちが変化や成長をしてきたかななどをお伝えさせていただきます。

年長の「劇」の‘ねらい’とは

年齢によって「劇」に対するねらいが大きく変わります。年長さんは「劇づくり」を大きなねらいとして行っています。簡単に各年齢のねらいをお伝えします。

年少「劇遊び」

年少さんの時の「おおきなカブ」「てぶくろ」では、舞台に立つ、セリフをいうことが大きな目標でした。遊びの延長として行う「劇遊び」です。

年中「劇ごっこ」

「みんなで一つの劇にしよう」と、協力することと、役割を理解して友達と一緒に前を向いてセリフを合わせていうことが大きな目標でした。役になることを楽しむ段階です。

年長「劇づくり」

自分たちで「劇」をつくっていく「劇づくり」。年少・年中と大きく異なるのが、「子ども達が’主’となる」ことにあります。決められたことをするのではなく、「考える」。そして、「創造する」。具体的にどんなことを行ったのかいくつか紹介いたします。

①セリフの変換

セリフを自分たちの言いやすいように変えていきました。例えば「みちくさ」という言葉。意味を伝えると理解はできるのですが、「みちくさ」だと、『道が臭い』みたいで嫌な感じがする。」この言葉に子どもの感性の凄さを感じました。大人では出ない発想です。その意見を尊重し「どんな言葉なら言いやすい？」と尋ねると「よりみち（寄り道）ならいいと思う！」という話になり決定。この言葉の言い換えを考えるだけでも豊かな語彙力が育ちます。

②セリフづくり

セリフがない場面では、新たにセリフもつくりました。「グレーテルならこの時になんて言うと思うかな？」と、グレーテルの気持ちになって、「ありがとう」かな？」「よかったね」の方がいいと思う。「グレーテルが言うかな？」など、一生懸命考え、子ども達同士で相談して決めました。話し合いをして一つの事を決める『協同』そして、物語を理解し、役の気持ちになりきらないと言葉はできません。素晴らしい『想像力』です。

③動き

セリフに合う「動き」を考え表現します。もちろん、お手本はありません。言葉のイメージを身体で表現することは豊かな「創造力」と「想像力」が必要です。また、他の人が見てもわかりやすいようにするため、どんな風に伝わるか客観的にみる視点も養われます。いろいろな力が必要ですが、子ども達は楽しく話し合いながら、自然とできています。友達のいいアイデアを「それいいね！」と素直に受け入れたり、「ちょっと変じゃない？」と自分の気持ちを素直に伝え合い、「動きを考える」という共通の目的に向かっている。お泊り会の時は意見が異なるとなんとか自分の意見を通そうと感情的になったり、衝突することがありました。しかし、子ども会では、「考えることが楽しい！」という想いが伝わってきます。感情的にはならず、自分の意見をきちんと相手に伝え、相手の意見も受け入れられる。まさに「健全な話し合い」ができていました。これは大きな成長だと感じています。

④道具

図書コーナーに、大道具や小道具を置かせてもらっているのも、保護者の皆様もご覧になっていただけていると思います。大道具、小道具の発信はすべて子ども達からです。絵本の絵をよく観察し、「これが欲しい！」「これが必要だ！」という物をできる限り再現しました。例えば、魔女が最後に入る「かまど」では、「自分も中に入れるぐらいの大きさがいい！」「色は絵本と同じ色で！」「パンが焼けるところも開くようにしたい！」。子どもの声を拾い、再現するには子ども達のイメージを言語化する力が必要です。「なんか違うな。。。」「どうゆう風にしたいの？」「こうももっとなんか暗く。。。」「暗くするの！？どれぐらい？」というやり取りを何回も行い、子ども達のイメージを具体化してもらいました。自分たちで作った道具には、やはり「愛着」があり、子ども達も嬉しそうです。

一部の紹介でしたが、こんな風に年長の子ども会は、「劇づくり」を行っています。そのためには、「想像力」「創造力」「協同」など様々な力が必要です。行事を通して、確実に子どもたちがその力を「変化・成長」していくのを日々感じています。

子ども達のイキイキ・わくわくの子ども会「ヘンゼルとグレーテル」を楽しみにしててください。

ドレミの歌

「楽しい音楽」の発表として「ドレミの歌」を披露します。ドレミの歌を選曲している理由は、「子ども達に音には‘音階’があることを知ってほしい。」という今泉りえ先生の想いがあります。新型コロナウイルスの影響で、楽しい音楽ができない期間があり、発表は難しいかと悩みました。しかし、練習をすると子ども達の吸収と意欲がすごく急成長！練習をする度に上手になっていく。子ども達も歌うのが楽しい！まさに楽しい音楽♪という状態です。こどもかいのうた

子ども達が大好き！「こどもかいのうた」は、作詞・作曲 こぼと会理事長 元井由隆 のオリジナルソングになります。そのため、卒園児が就学した後、友達に歌っても共感してもらえない！という話もありました。毎年恒例で子ども達が大好きな歌です。子ども会の最後に披露する予定です！お楽しみに！！